

高松市の渋滞対策について

～福岡町三丁目交差点の交差点改良～

高松市 都市整備局 道路管理課

1. はじめに

本市は、四国の北東部、香川県の中央に位置し、北は、多島美を誇る、日本で最初に国立公園に指定された瀬戸内海に面し、南は、讃岐山脈まで続く、変化に富む自然・地理的環境を保有しています。古くから四国の玄関口として繁栄し、便利な都市機能とのどかな田園風景がコンパクトに調和したまちです。

本市の総面積は、375.52km²で、讃岐平野の一部である高松平野に位置し、都心部が臨海部に接する地理的構造にあります。

また、本市は、瀬戸内海気候区に属し、降水量が少なく、日照時間が長いという特徴があり、年間を通じて温暖な気候に恵まれています。

このような本市が管理する市道は、平成29年3月末日現在、管理延長が約2,400km、橋梁は約1,500橋となっており、舗装率は約96%、改良率は約63%と、全国の市町村道のそれぞれの平均と比べ、高い状況となっています。



瀬戸内海側から見る市街地

2. 福岡町三丁目交差点の状況

都市計画道路高松海岸線は、本市の臨海部を東西に結び、12時間に約20,000台が通行する主要幹線道路です。

このうち、詰田川下橋の西詰にある福岡町三丁目交差点は、交差点の西側が片側3車線の県道と東側が片側2車線の市道に挟まれています。

2車線の市道は、右折専用車線がなく、右折車が滞留すれば、特に、朝の出勤ラッシュ時には、最大約200mの渋滞が発生するなど、渋滞対策を行う必要がある交差点の一つでした。

また、事故危険箇所にも選定されており、西向きの市道上で、追突などによる事故が多く発生しており、過去5年間に人身事故が21件、物損事故が47件となっています。

このようなことから、議会や市民から改善を求める声が数多く寄せられていましたが、橋梁拡幅等といった抜本的対策を行うことは、相当の費用と時間を要することとなるため、長年に渡って対策が取られずにいました。



位置図



航空写真（福岡町三丁目交差点）



現地写真（対策前）

3. 対策内容について

福岡町三丁目交差点の東側の市道は、右折専用車線がない片側2車線であることから、センター側の車線に右折車が滞留すれば、渋滞を発生するとともに追突事故も誘発する原因となっていました。

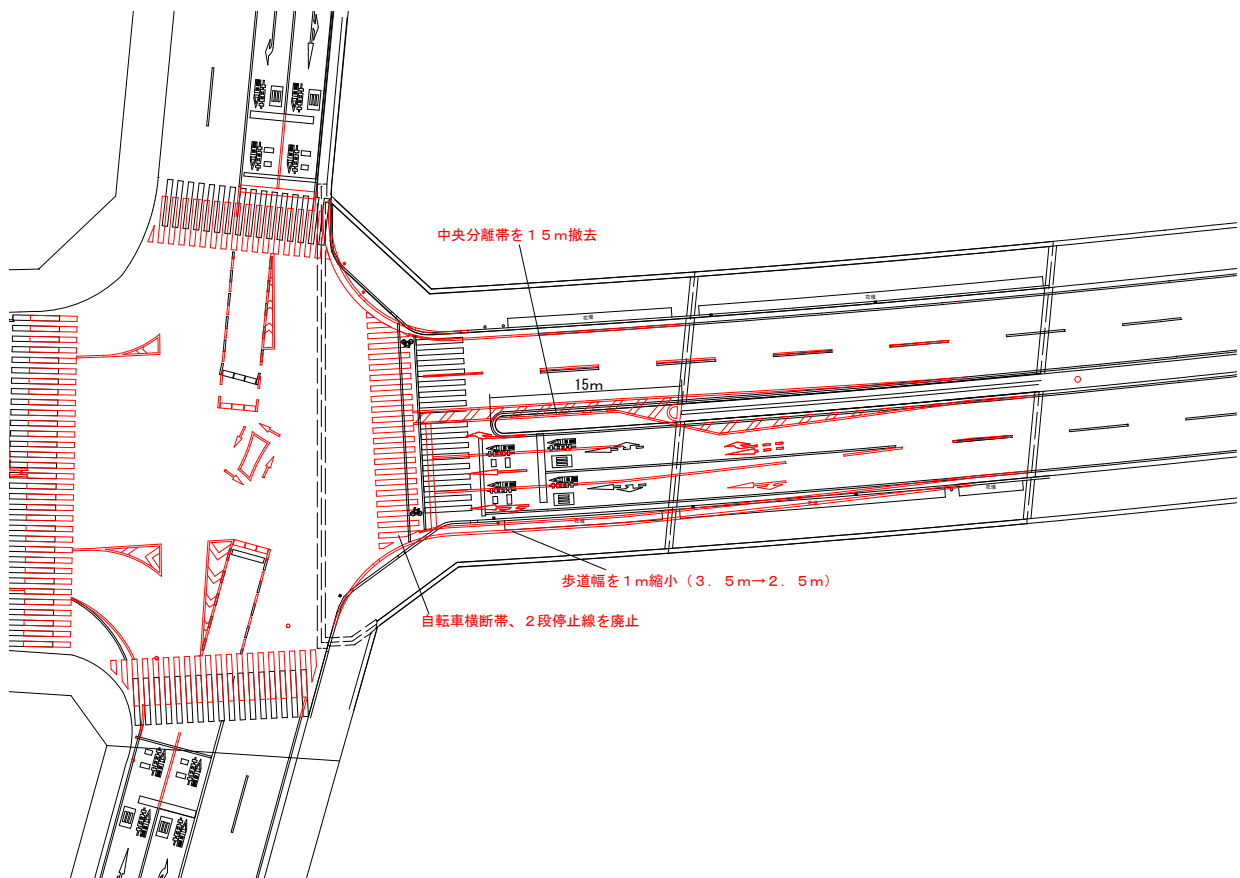
そこで、交通量調査を実施し、理論上の右折車線長を検討した結果、130mに渡る右折車線を設ける必要があることが判明しました。

この右折車線のすべてを設けるとした場合、PC橋である詰田川下橋を改良する必要があり、多額の費用を要することになります。

しかしながら、詰田川下橋の端部から約30mが上り車線と下り車線が一体となった構造をしていることから、香川県や香川県警と協議し、交差点のコンパクト化にあわせ、右折ポケットを設けることにしました。



現地写真（対策後）



対策工事の内容

4. 終わりに

本市では、今回、紹介した福岡町三丁目交差点における渋滞対策の取組のほか、都市計画道路高松海岸線の渋滞緩和の取組を並行して実施しています。

福岡町三丁目交差点から西に約 500m のところにある福岡町二丁目交差点では、右折専用車線を設置し、平成 29 年 6 月から供用開始しています。

また、更に西約 500m の福岡町一丁目交差点でも、同様に右折専用車線の設置を進めているところであり、来年度早期に完成予定です。

これらの 3 つの交差点における右折専用車線等の設置が完了すると、渋滞の軽減に大きく寄与できるとともに交通事故の減少に繋がるものと考えています。

今後、これらの対策実施の効果を検証していく予定としています。



現地写真（福岡町二丁目交差点）



現地写真（福岡町一丁目交差点）